

特定非営利活動法人STスポット横浜

平成29年度 事業報告書

平成30年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートの力を現代社会に生かす」とのミッションに基づき活動を続け、1987 年の活動開始から数えて、今年度は 30 周年の節目を迎えました。市内で活動する舞台芸術関係者が集い「S T スポット運営委員会」を立ち上げた時点から、バトンを落とすことなく現在まで活動を続けて来られたことに感謝するとともに、支援くださったみなさんに心からお礼を申し上げます。

法人事務局としては財政基盤の整備を続け、横浜市より 2017 年 4 月 1 日付けで、認定特定非営利活動法人（認定 N P O 法人）格を得るなど、今後の展開に向けた重要な布石を置くことができました。私たちの活動に対する支援を、目に見える寄付金としてお送りくださった個人の会員も増えており、職員一同励まされています。今後は、活動に関する説明責任を果たすための仕組みを整備していきます。

【創造環境事業部】

開館 30 周年記念の主催事業として、伊藤キム×山下残『ナマエガナイ』、Aokid、岩渕貞太、岡田智代、モモンガ・コンプレックスによるダンスショーケース、山田うん×楠田健造『生えてくる』の公演を実施しました。10 公演に及ぶ共催・提携・協力事業とあわせ、S T の歴史を公演ラインナップとして示し、今後の舞台芸術のあり方について問いかけました。11 月には、記念シンポジウムを開催し、歴代館長によるトーク企画を行いました。

【地域連携事業部】

神奈川県障害福祉課・文化課との協働事業・地域における障害者の文化芸術体験活動支援事業を今年度より開始し、各地の障害福祉サービス事業所にアーティストとともに出向きました。横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業では、市内 140 の小・中学校、特別支援学校等で芸術家による授業を行い、ヨコハマアートサイト事業では、27 団体の地域文化活動のサポートを行うなど、ネットワークは広がりを見せています。

今後とも、皆様方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜
理事長 小川智紀

目次

創造環境事業部	2
地域連携事業部	6
事務局	13
2017（平成 29）年度財務諸表	15

創造環境事業部

1. 施設の概況

- ・年間開館日／310 日（前年度：305 日）
- ・プログラム数／52 本（前年度：85 本）
- ・年間稼働日／286 日（前年度 282 日）
- ・利用団体数／29 団体（前年度：39 団体）
- ・稼働率（稼働日÷開館日）／92.3%（前年度：92.5%）
- ・開館率（開館日÷350 日）／82%（前年度：81%） *350 日＝ビル休館日およびメンテナンス休館を除いた年間稼働可能日数

2. 施設の月別の状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考	
1 開館日	25	27	25	24	29	27	29	26	26	22	23	27	310		
2 稼働日	18	27	20	22	29	26	29	26	22	17	23	27	286		
種目別	一般利用	8	12	9	9	6	13	4	9	8	4	14	27	123	43.0%
	自主他	10	15	11	13	23	13	25	17	14	13	9	0	163	57.0%
ジャンル別	演劇	7	21	17	10	19	18	14	9	8	9	13	17	162	56.6%
	ダンス	5	0	0	3	4	3	8	11	6	0	6	9	55	19.2%
	稽古	5	6	1	9	6	3	7	4	4	8	3	1	57	19.9%
	講座	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0	6	2.1%
	その他	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	6	2.1%
3 プログラム数	3	3	4	5	4	6	3	7	5	2	5	5	52		
種目別	一般利用	1	2	3	3	2	3	1	3	2	1	3	5	29	55.8%
	自主他	2	1	1	2	2	3	2	4	3	1	2	0	23	44.2%
4 稼働率	72.0%	100%	80.0%	91.7%	100%	96.3%	100%	100%	84.6%	77.3%	100%	100%	92.3%		

- ・S T スポット総入場者数：11,515 名（前年度：9,990 名）
- ・利用団体観客数：5,012 名（前年度：4,479 名）
- ・利用団体スタッフ数：1,254 名（前年度：1,934 名）
- ・事業観客数：3,949 名（前年度：2,758 名）
- ・事業スタッフ数：1,300 名（前年度：819 名）

3. 施設の利用団体一覧

団体名	タイトル	利用期間
劇団横浜にゆうくりあ	『にゆうくりあ映像フェスティバル 2017』	2017年4月15日～16日
ボン企画	旗揚げ公演『Bar TAKE FIVE』	2017年4月21日～23日
演劇ユニット Room105	『あばあとめんと』	2017年5月12日～14日
STEPS Musical Company	『TOUCHABLE』	2017年5月20日～21日
劇団濱座	第5回公演『濱座の七夕短編笑劇場～町内懐疑(会議)』	2017年6月17日～18日
劇団 JUST だらま舎	第28回公演『熱海殺人事件』	2017年6月24日～25日
劇団ベリどっと	第4回公演『想い～日常の中で～』	2017年7月1日～2日
屋根裏ハイツ	4F『とおくはちかい』	2017年7月7日～9日
Y劇場	『砂の…』	2017年7月15日～16日
D.M.C	11th play『恋愛戯曲』	2017年8月19日～20日
演劇ユニット TEAM UPDATE	Ver 1.0 旗揚げ公演『下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。』	2017年8月22日～23日
ゆうめい	『弟兄』	2017年9月8日～12日
劇団かえる	第8回公演『バンク・バン・レッスン』	2017年9月17日～18日
劇団「無題」	第22回公演『まーぶる・まーぶる』	2017年9月23日～24日
アクション集団とびでるななみ(仮)	『殴られたら誰だって痛い』	2017年10月27日～29日
劇団ベリどっと	第5回公演『喫茶ラボムがつぶれるまで』	2017年11月3日～5日
ルサンチカ	『メザシヒカリノサキニアルモノ若しくはパラダイス』	2017年11月24日～26日
竹村プロデュース	VOL.3『白の憂鬱』	2017年12月1日～3日
劇団 108	第85回公演『オレンジ、』	2017年12月23日～24日
富山のはるか	#4『長いお別れ』	2018年2月1日～4日
演劇ユニット UM	第1回旗揚げ公演『RE:DREAM』	2018年2月23日～24日
水越朋 ソロダンス	『アルモノラ -armonola-』	2018年3月2日～4日
かりんとうばんぱく	第1回博覧会「初舞」『R 侵略する幸福論。』	2018年3月7日～9日
木村愛子	新作ダンス公演『dear others』	2018年3月17日～18日
時々自動	『リハリハ5』～2019年2月に上演予定の『コンサート・リハーサル』に接近してゆくステップ公演その5～	2018年3月20日～21日
人形劇団ひとみ座	『はれときどきぶた』	2018年3月24日～31日

4. 施設内で行った主催、共催公演等

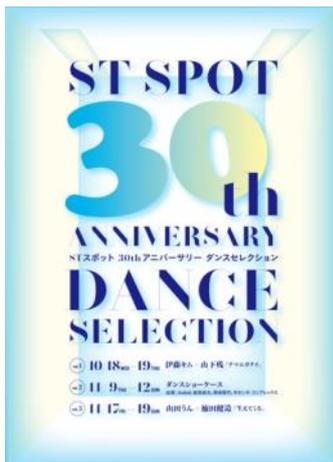
事業名	日時	入場料(円)	回数(回)	動員(名)	出演者のべ(名)	スタッフのべ(名)
主催公演						
ST Spot 30th Anniversary Dance Selection						
vol.1 伊藤キム×山下残『ナメガナイ』	2017年10月18日～19日	2,500	3	67	4	23
vol.2 ダンスショーケース	2017年11月9日～12日	3,000	4	161	48	52
vol.3 山田うん×楠田健造『生きてくる』	2017年11月17日～19日	3,500	3	148	10	38
共催公演						
地上波	2017年4月28日～30日	2,500	3	94	25	26
オフィスマウンテン『ホールドミーおよしお』	2017年5月24日～6月10日	2,500	14	575	140	94
手塚夏子『漂流瓶プロジェクト』	2017年7月21日～23日	3,000	4	150	35	34
範宙遊泳『その夜と友達』	2017年8月3日～13日	3,000	15	605	42	112
Aokid『I ALL YOU WORLD PLAY』	2017年8月31日～9月3日	2,800	5	189	7	50
東京デスロック『ARE YOU HAPPY ???～幸せ占う3本立て～』	2017年9月30日～10月14日	2,800	22	959	86	179
福留麻里×村社祐太郎 『隙間を埋めるのにプロコリーを使うまで』	2018年2月9日～12日	3,000	6	174	6	30
ワークショップ/講座						
オフィスマウンテン公開稽古	2017年5月4日、12月26日	0	2	51		6
STスポット30周年記念トーク「STスポットのこれまでとこれから」	2017年11月6日	0	1	28	6	8
チェルフィッチュ『三月の5日間』 レビュー&公開討論会	2017年12月2日	0	1	22	16	7
オフィスマウンテンWSオーディション	2017年12月18日～19日	2,000	4	61		6
提携公演						
GERO『言いたいだけ』	2017年12月14日～17日	2,800	8	224	42	43
オフィスマウンテン『ドッグマンノーライフ』	2018年1月17日～21日	3,000	5	248	56	20
協力公演						
Q『毛美子不毛話』『妖精の問題』	2018年2月14日～18日	3,500	8	221	21	42
合計			107	3,977	544	770

・事業総入場者：5,291名（前年度：3,587名）

・事業観客数：3,977名（前年度：2,768名）

・事業スタッフ数：1,314名（前年度：825名）

5. 自主事業等



1 開館 30 周年記念 主催公演企画

ST Spot 30th Anniversary Dance Selection

フェスティバル/トーキョー17 連携プログラム

助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団 (vol.2、3) 特別協力：急な坂スタジオ (vol.2、3)

vol.1 伊藤キム×山下残『ナメエガナイ』 2017年10月18日～19日

振付・演出：山下残 出演：伊藤キム 全3回 動員67人

主催：伊藤キム×山下残 認定NPO法人S T スポット横浜

2014年にTPAM2014ディレクションプログラムとしてS T スポットで初演。国内外で再演を重ねてきた本作だが、初演の構成をほとんど変えることなくライフワークのような作品としてS T スポットに戻ってきた。1つの作品が数年に渡って上演を重ね続けることの意義を観る側に伝えることとなった。



©松本和幸

vol.2 ダンスショーケース (Aokid 岩淵貞太 岡田智代 モモンガ・コンプレックス)

2017年11月9日～12日 全4回 動員161人

Aokid×額田大志 (ヌトミック/東京塩麴) 「SONG OF RIVER AND WIDE HEAVY」

岩淵貞太「縷々たる夜のダンス」 岡田智代「Parade」

モモンガ・コンプレックス「あっちの方が楽しそう。」

これまでの30年の歴史の中で、ワークショップや若手育成プログラム等で縁の深い4組のアーティストによるショーケース。30周年を記念した祝祭性的のみに留まらず、各アーティストはそれぞれが持つ現在の課題と真摯に向き合い、次の活動に繋がるような創作をした。結果的に四者四様の在り方でコンテンポラリー・ダンスの可能性が浮かび上がることとなった。

vol.3 山田うん×楠田健造『生えてくる』

2017年11月17日～19日

振付・演出・出演：山田うん 楠田健造 全3回 動員148人

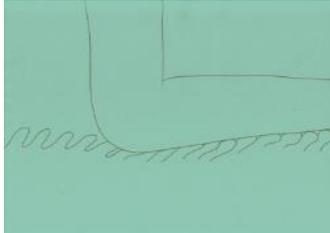
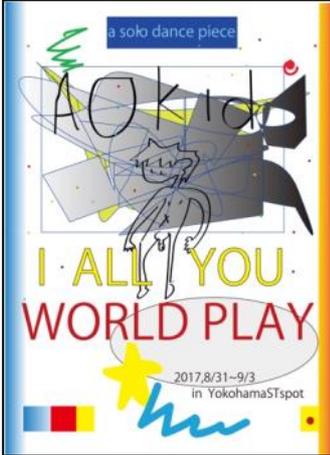
かつてS T スポットで働きながら自身の初めての作品発表を行った山田うんと、その最初の作品に出演していた楠田健造による21年ぶりの邂逅。S T スポットの空間を隅々まで知り尽くし、客席を特殊な配置に設えることで、ダンサーの一挙手一投足や緊張感がダイレクトに観客に伝わり、空間全体に一体感が創出された。この場所に流れる歴史と向き合い、この場所ですら観ることができない時間となった。

【関連企画】S T スポット30周年記念トーク「S T スポットのこれまでとこれから」

2017年11月6日 動員28名

出演：岡崎松恵、田中啓介、加藤弓奈、大平勝弘、佐藤亮太、佐藤泰紀、小川智紀

S T スポットの歴代館長が一堂に会し、これまでのS T スポットの歴史を振り返ること、今後の劇場のあり方を見つめ直す時間となった。



2 30周年記念 共催・提携・協力事業

- (1) 地上波 第三波 (ダンスショーケース) 企画: 牛川紀政
共催・制作 2017年4月28日~30日 全3回 動員94人
- (2) オフィスマウンテン『ホールドミーおよしお』 作・演出: 山縣太一
共催 2017年5月24日~6月10日 全14回 動員575人
- (3) 手塚夏子『漂流瓶プロジェクト』演出: 手塚夏子 Venuri Perera YeongRan Suh
共催・制作 2017年7月21日~23日 全4回 動員150人
- (4) 範宙遊泳『その夜と友達』 作・演出: 山本卓卓
共催 2017年8月3日~13日 全15回 動員605人
- (5) Aokid『I ALL YOU WORLD PLAY』 振付・出演: Aokid
共催・制作 2017年8月31日~9月3日 全7回 動員329人
- (6) 東京デスロック『ARE YOU HAPPY???~幸せ占う3本立て~』
『3人いる!』『再生』作・演出: 多田淳之介
『ハッピーな日々』作: サミュエル・ベケット 翻訳: 長島確 演出: 多田淳之介
共催 2017年9月30日~10月14日 全22回 動員959人
- (7) フィジカルシアターカンパニーGERO『言いたいだけ』 構成・演出・振付: 伊藤キム
提携 2017年12月14日~17日 全8回 動員224人
- (8) オフィスマウンテン『ドッグマンノーライフ』 作・演出・振付: 山縣太一
提携・制作 2018年1月17日~21日 全5回 動員248人
- (9) 福留麻里×村社祐太郎『隙間を埋めるのにブロックリーを使うまで』
TPAMフリンジ STスポットセレクション参加作品
共催・制作 2018年2月9日~12日 全6回 動員174人
- (10) Q『毛み子不毛話』『妖精の問題』 作・演出: 市原佐都子
TPAMフリンジ STスポットセレクション参加作品
協力 2018年2月14日~18日 全8回 動員221人

3 30周年記念×チェルフィッチュ20周年記念

ゲンロン佐々木敦批評再生塾×チェルフィッチュ『三月の5日間』リクリエーション | レビュー & 公開討論会 2017年12月10日 動員22人

主催: KAAT神奈川芸術劇場、チェルフィッチュ、STスポット 企画制作: 株式会社precog

6. ネットワーク構築事業

- 1 急な坂スタジオとの提携 (出向1名)
- 2 EADP東アジアダンスプラットフォームを立ち上げるためのミーティングへの参加

地域連携事業部

1. 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局運営

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。



直近5年間の実施校数の推移（単位：校）

ジャンル/年度	25		26		27		28		29	
	体験	鑑賞	体験	鑑賞	体験	鑑賞	体験	鑑賞	体験	鑑賞
音楽	17	18	26	19	20	20	23	24	20	23
美術	11	5	13	9	20	0	16	2	18	7
演劇	8	1	7	3	8	4	15	3	7	3
ダンス	13	1	22	0	26	0	20	1	20	0
伝統芸能	8	10	18	17	21	17	17	17	20	22
全体	57	35	86	48	95	41	91	47	85	55
合計	92校		134校		136校		138校		140校	

直近5年間の実施校種と対象者数（単位：校）

校種/年度	25	26	27	28	29
小学校	76	112	122	121※	126※
中学校	8	12	6	8	6
特別支援学校	8	10	8	9	8
合計	92校 9,517人	134校 14,225人	136校 14,088人	138校 14,869人	140校 14,887人

※義務教育学校・小学部を含む。

担当コーディネーター(39団体)

【アートNPOなど、民間の芸術団体】11団体：Media Global、よこはま音楽広場実行委員会、NPO法人子どもに音楽を、NPO法人横浜こどものひろば、NPO法人芸術家と子どもたち、ART LAB OVA、民族歌舞団荒馬座、アートの時間、NPO法人Offsite Dance Project、認定NPO法人あっちこっち、NPO法人横浜シティオペラ

【地域の文化施設】26団体：青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなっくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、旭区民文化センター サンハート、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、磯子区民文化センター 杉田劇場、大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、象の鼻テラス、長浜ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、関内ホール、神奈川県立音楽堂

【事務局構成団体】2団体：公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ、認定NPO法人 S T スポット横浜

1 平成 29 年度横浜市芸術文化教育プログラムの実施、アーティストの調整

学校において子どもたちが創造的な体験できるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行いました。実施期間中、事業が円滑に実施されるよう、各学校における進捗を管理しました。

2 教師および文化芸術関係者等のためのワークショップ



a. 教師のためのワークショップ（美術）

日時：2017 年 9 月 27 日、10 月 25 日 15 時～16 時 45 分

会場：横浜美術館

9 月 25 日は中・高等学校美術作科研修として、10 月 25 日は小学校図画工作科研修として実施。横浜市内の小・中学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員 18 人が参加。横浜美術館教育普及チームのコーディネートにより、ヨコハマトリエンナーレ 2017 出品作を取り上げ、現代アーティストの作品鑑賞の手がかりとなるような研修を行いました。



b. 教師のためのワークショップ（音楽）

日時：2017 年 8 月 21 日、14 時 30 分～16 時

会場：横浜市立都田西小学校

都筑区小学校特別支援教育研究会・夏期実技研修として実施。S T スポット横浜によるコーディネートで音楽ユニット・即興からめーる団が個別支援学級の教員向けに実技を盛り込んだ内容で講座を行いました。障害のある子どもたちへの音楽的なアプローチを模索する時間となりました。



c. 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2017 年 7 月 4 日 会場：横浜市民ギャラリーあざみ野・アトリエ

内容：今年度に学校でのプログラムを担当するコーディネーターがあつまり情報交換を行う「コーディネーター会議」が行われ、総勢 33 名が集まりました。担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、少人数でのディスカッションを行いました。



d. 横浜市芸術文化教育プラットフォーム・トークシリーズ

日時：2018 年 2 月 19 日（月）19 時～20 時 30 分

会場：S T スポット

ゲスト：石上則子（東京学芸大学 准教授）、宮内康乃（作曲家）

内容：横浜市内の小学校で実施した取組を事例にアーティストと協働した音楽の授業実践について会場のみなさんと考えました。アーティストが学校教育に関わることの意義や可能性について、深める時間となりました。

3 平成 30 年度横浜市芸術文化教育プログラム実施校の募集

平成 30 年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・特別支援学校に広報を行いました。



4 芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営、相談窓口、データ蓄積、広報

芸術文化教育プラットフォームの事務局構成団体である、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、教育委員会、文化観光局と協力し、事務局を運営しました。より効果的なプログラムを実施するために、学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、WEB 更新等）を行いました。独自ドメインを取得し、年間を通して、ホームページを運営しました。また事業の進捗にあわせて、定期的に横浜市政記者クラブ等に記者発表を行い、教育委員会を通じて市内の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校に対してニュースレターを発行しました。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム ウェブサイト <http://y-platform.org/>

5 学校プログラムの実施

以下の 4 校について、コーディネートを行いました。

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
横浜市立勝田小学校	個別支援学級	ダンス	尾形直子 (ダンサー)	2017 年 9 月 11 日、20 日、25 日、27 日	4	15
横浜市立北山田小学校	4 年生	音楽	宮内康乃 (作曲家)	2017 年 11 月 28 日、29 日、12 月 13 日、14 日	4	84
横浜市立芹が谷小学校	3 年生	音楽	飯田茂樹 (音楽家)	2017 年 11 月 21 日、12 月 5 日、12 日、19 日	4	46
横浜市立上菅田特別支援学校	高等部 3 年生	美術	MATHRAX (アートユニット)	2018 年 1 月 16 日、30 日、2 月 6 日、20 日	4	10

※平成 29 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。



2. ヨコハマアートサイト 2017 事務局運営

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。

1 採択事業の選考、視察、補助金交付

補助金の交付対象事業を選考（申請 37 件中 27 件を採択）、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、補助金交付に関する事務や、交付対象団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでの支援を行いました。

ヨコハマアートサイト 2017 参加団体（団体数：27 団体、助成総額：17,428,884 円）



団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社まるごとギャラリー2017	金沢区
特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	都筑区、緑区、青葉区、港北区
認定NPO法人あっちこっち	子どものためのアート・音楽・ダンスをいっぺんに楽しむわくわくワークショップ シリーズVol.6	戸塚区
石川町ストリートアートプロジェクト実行委員会	石川町ストリートアートプロジェクト	中区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY—つどおう・かたろう・つながろう	中区
映像グループローポジション	ヨコハマ・ドキュメンタリー映画普及プロジェクト 2017 特集上映「変わりゆく街、変わりゆく子どもたち —ハマを見つめたドキュメンタリー映画—」	中区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぶるむなあと 2017」	南区
NPO法人Offsite Dance Project	本牧アートプロジェクト 2017	中区
金沢文庫芸術祭実行委員会	第 19 回金沢文庫芸術祭	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第 18 回手づくり紙芝居コンクール	西区
旧劇場オープスタジオ実行委員会	「踊る旧劇場」〜クリエイターオフィスのオープスタジオ〜	中区
さかえ egao プロジェクト	さかえ egao フェスティバル	栄区
さかえ de つながるアート	ティーンズクリエイション展 2017	栄区
特定非営利活動法人スローレーベル	SLOW ACADEMY 福祉施設と地域コミュニティをつなぐワークショップ	港南区、都筑区、中区
NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃおう	戸塚区、中区、旭区、南区、保土ヶ谷区
NPO法人都筑民家園管理運営委員会	都筑・遺跡公園・民家園アート月間 2017	都筑区
つなぐプロジェクト縁実行委員会	[otto&orabuを横浜に呼ぼう]	港南区
一般財団法人日本京劇振興協会	こども京劇プロジェクト inYokohama	中区、保土ヶ谷区、栄区
「土方巽 1960 しずかな家」実行委員会	土方巽 1960 しずかな家 III	西区
NPO法人ぶかぶか	みんなでワークショップ	緑区
横浜榮写友	PictureThis2017: 横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2017+よこはま若葉町多文化映画祭 2017	中区
横浜シネマネットワーク実行委員会	横浜映画ネットワーク実行委員会	中区
横浜・藤棚シネマ商店街実行委員会	横浜・藤棚シネマ商店街 2017 アニメフェスティバル	西区
横浜みなと映画祭実行委員会	ユカがハマに帰ってくる〜銀幕に映るヨコハマ〜	中区

2 ヨコハマアートサイトラウンジなど

採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を 4 回開催しました。このほか、助成採択団体の事業報告会を「アートの現場から見る地域文化」として、3 月 17 日に YCC ヨコハマ創造都市センターで開催しました。



ヨコハマアートサイトラウンジ

回	企画名	テーマ	開催日	主な出演者（敬称略）	会場	協働団体
14	アートイベント、撮った後どうする？	記録映像の活用と、その後の展開	2017年10月23日	ART LAB OVA、NPO 法人ぶかぶか、たまプラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト、映像グループローポジション	シネマノヴェチェント	映像グループ ローポジション
15	横浜の北部の民話に聴く～『民』と『族』の間に挟まれて～	民話から見る地域コミュニティ	2017年10月28日	Robert Eskildsen ロバート・エスキルドセン（「横浜に聴くプロジェクト」代表／国際基督教大学上級准教授）	なごみ邸	特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク
16	地域で次代を育むこと	地域でアート活動を継続する中で見えてきた課題や展望	2017年11月26日	GROUP 創造と森の声、金沢文庫芸術祭実行委員会、AOBA+ART、さかえ de つながるアート	横浜市栄区民文化センター リリース・会議室	さかえ de つながるアート
17	まちとアートの仲人たち	地域とアートのつなぎ手による事例報告	2018年2月18日	石神夏希（ペピン結構設計）、宮武亜季（居間 theater/ PARADISE AIR）、宮永琢生（ままごと）、横井貴子（フェスティバル/トーキョー 一実行委員会事務局）	BankART 2F 2B スペース	TPAM

3 季刊ヨコハマアートサイト

横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3カ月に1回のペースで定期刊行を続けています。

季刊ヨコハマアートサイト

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
12	まちなかミュージアム（私設美術館、博物館）	2017年6月	日吉の森庭園美術館（港北区）、博物館 Café & Bar うっふ（中区）、横浜蓄音器ミュージアム（戸塚区）、演劇資料室（西区）、和泉川（泉区）、桜まつり（南区）、横浜美術館「ファッションとアート」（中区）、横浜開港資料館「横浜・地図にない場所」（中区）、全国都市緑化よこはまフェア・里山ガーデン（緑区）
13	民話を描く（民話とアート作品の関わり）	2017年9月	紙芝居文化推進協議会（戸塚区）、かながわ浦島太郎 PJ（神奈川区）、影絵グループ「花いちもんめ」（瀬谷区）、特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク（都筑区）、かたびら・スペース・しばた（保土ヶ谷区）、ギャラリーかれん（港北区）、菊名北町町内会盆踊り大会（港北区）、虫送り（都筑区）、南まつり（南区）
14	学校に出かけよう（地域活動の拠点としての学校や、学生によるアート活動）	2017年12月	つなぐプロジェクト縁実行委員会（港南区）、一般財団法人日本京劇振興協会（中区）、認定 NPO 法人あっちこっち（西区）、アートの時間（戸塚区）、3丁目カフェ（青葉区）、黄金町バザール 2017（中区）、ヨコハマトリエンナーレ 2017（中区）、会社まるごとギャラリー（金沢区）、みどり福祉ホームまつり（緑区）
15	記録から見る物語（アートとしてのアーカイブ）	2018年3月	牛込の獅子舞（青葉区）、横浜栄写真（中区）、映像グループ ローポジション（中区）、谷山恭子「街のはなし」（青葉区）、いたち川（栄区）、わくわくワークショップ シリーズ Vol.6（戸塚区）、LIGHT × SOUND × MOVEMENT（中区）、otto&orabu concert in Yokohama（港南区）、筒粥神事（港北区）

3. 福祉分野における芸術文化活動の基盤整備事業



平成 29 年度かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金として、「地域に地域における障害者の文化芸術体験活動支援事業」を実施しました。

1 ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等 8 か所に対してのべ 23 回芸術家を派遣し、施設の希望に応じて演劇やダンス、音楽等、広範な文化芸術体験を実施しました。

施設名	施設種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
リエゾン空間	障害者支援施設	身体	美術	水内貴英 (現代美術家)	2017 年 11 月 30 日、12 月 20 日、2018 年 1 月 18 日	3	30
まどか工房	障害者サービス事業所 (生活介護)	知的	音楽	即興からめーる団 (音楽ユニット)	2017 年 11 月 17 日、24 日、12 月 1 日	3	61
飛行船	障害者サービス事業所 (生活介護)	知的	演劇	花崎攝 (演出家)	2017 年 10 月 4 日、18 日、25 日	3	94
光の丘	障害者支援施設	知的	ダンス	向雲太郎 (舞踏家)	2017 年 11 月 10 日、12 月 8 日、2018 年 1 月 12 日	3	41
YSK 作業所	地域活動支援センター	知的	ダンス	上村なおか (ダンサー)	2017 年 10 月 19 日、11 月 20 日、12 月 5 日	3	30
みどり福祉ホーム	障害者地域活動ホーム	身体	美術	ドゥイ (造形ユニット)	2018 年 1 月 15 日、29 日、2 月 5 日	3	52
ひふみ	地域活動支援センター	精神	音楽	西井夕紀子 (作曲家)	2018 年 1 月 16 日、2 月 27 日、3 月 29 日、31 日	4	40
リバーサイド泉Ⅲ のぞみ・ひまわり	障害者サービス事業所 (生活介護)	身体	音楽	即興からめーる団 (音楽ユニット)	2018 年 1 月 10 日	1	26

2 コーディネーター育成事業

芸術文化関係者を対象とした勉強会を 4 回や報告会を 1 回実施し、県内のネットワーク構築を目指しました。



回	企画名	開催日	主な主演者 (敬称略)	テーマ	人数	会場
1	作業所から見える風景、地域とつながる方法	2017 年 9 月 20 日	鈴木励滋 (地域作業所カブカブ所長)	福祉の中にアートのまなざしを向けることや地域とつながることで生まれる可能性について。	41 人	STS スポット
2	障害のある人たちの日々の生活に触れる	2017 年 10 月 18 日	中村麻美 (地域活動支援センターひふみ施設長)	精神障害のある人たちの地域生活を支える場の在り方について。	32 人	地域活動支援センターひふみ
3	みんなが楽しめる美術館って？	2017 年 11 月 16 日	立浪佐和子 (横須賀美術館 学芸員)	障害の有無や世代に関わらず美術館を楽しんでもらうための工夫について。	26 人	横須賀美術館
4	舞台と観客の関係づくり～舞台手話通訳の現在	2017 年 11 月 29 日	米内山陽子 (劇作家 演出家 舞台手話通訳)	聴覚に障害のある人たちに取組みとして行われている舞台手話通訳の紹介を中心とした舞台と観客をつなぐ方法について。	25 人	STS スポット
報告会	障害福祉と文化芸術の関わりを考える報告会	2018 年 3 月 26 日	浦郷大佑 (障害者サービス事業所まどか工房)、即興からめーる団 (赤羽美希、正木恵子/音楽ユニット)、塚原沙和 (特定非営利活動法人スローレーベル)	福祉分野と文化芸術分野について、どのようなかわりをつくっていくのがいいのか、今後の可能性や展望について。	26 人	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

3 調査研究事業

神奈川県内における障害者の文化芸術体験活動の事例蓄積を行い、報告書の作成を行いました。

(1) ヒアリング調査

障害福祉サービス事業所 17 か所、文化芸術団体 3 か所、計 20 か所に現状の課題などを伺いました。

(2) アンケート調査

神奈川県内の障害福祉サービス事業所 2,026 か所に対して、調査票を配布。477 か所から回答がありました。（有効回答率 23.5%）

(3) 報告書作成

今年度の成果をまとめた事業報告書を 500 部作成し、神奈川県内の福祉施設や文化施設に配布しました。

4. ネットワーク事業

・「地域と文化と制度の研究会」企画運営協力

地域と文化に関わる中間支援の実践的な「機能」を議論するための研究会をアーツカウンシル東京とともに行いました。議論が足りていない中間支援機能について、各地の状況を確認し、今後の活動に対して、視野を広げることができました。

回	企画名	開催日	話題提供者（敬称略）
準備会	認定 NPO 法人 ST スポット横浜について	2017 年 8 月 22 日	小川智紀、田中真実
1	アーツコミッション・ヨコハマ (ACY) について	2017 年 9 月 19 日	杉崎栄介（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、広報 ACY グループ担当リーダー、プログラム・オフィサー）
2	静岡県文化プログラムについて	2017 年 10 月 24 日	鈴木一郎太（株式会社大と小とレフ取締役）
3	プログラムオフィサーの仕事について	2017 年 11 月 7 日	鈴木祐司（公益財団法人地域創造基金さなぶり）、若林朋子（プロジェクト・コーディネーター／プランナー）
4	これまでの議論の振り返り	2017 年 12 月 19 日	アーツカウンシル東京プログラムオフィサーほか
5	公開研究会「アートとコミュニティを巡って（1）：イギリスの経験から」	2018 年 1 月 24 日	小林瑠音（文化政策研究者／神戸大学大学院博士後期課程）、モデレーター：佐藤李青（アーツカウンシル東京プログラムオフィサー）、小川智紀
6	公開研究会「アートとコミュニティを巡って（2）：アーティストの視点から」	2018 年 2 月 20 日	深澤孝史（美術家）、モデレーター：田中真実

1. 寄附

認定NPO法人化を機に、寄附獲得にむけての広報宣伝等を行いました。

2. レクチャー・シンポジウムなどへの出演

【創造環境事業部】

- ・レクチャー：Somatic Field Project 主催「振付家ワークショップ vol.0」（ディレクション：梅田宏明／日程：2017年5月～7月／会場：森下スタジオ）＝佐藤泰紀がゲスト講師として参加。
- ・TPAM エクスチェンジ「スピード・ネットワーキング」（2018年2月14日／会場：BankART Studio NYK）＝佐藤泰紀がホストとして参加。

【地域連携事業部】

- ・レクチャー：キラリふじみ・リージョナルカンパニー「ACT-F」勉強会（日程：2017年6月6日／会場：キラリふじみ）＝田中真実が登壇。
- ・シンポジウム：子どもと舞台芸術—出合いのフォーラム 2017「地域における社会包摂のための芸術文化活動とは」（日程：2017年7月31日／会場：国立オリンピック記念青少年総合センター）に小川智紀が出演。
- ・視察対応：富山県議会議員による視察（日程：2017年8月21日／会場：S T スポット横浜事務所）＝小川智紀が対応。
- ・レクチャー：福島芸術計画×ART SUPPORT TOHOKU-TOKYO「学校連携共同ワークショップ」意見交換会（日程：2017年10月16日／会場：ギャラリーオフグリッド）＝田中真実が話題提供。
- ・シンポジウム：上野学園大学音楽文化研究センター×メディアラボ・音楽を“まなびほぐす”—教育普及プログラム実践者のための人材育成事業「ワークショップ&トークセッション「音楽教育普及プログラムをプロジェクト化する」【#2 現場を支える編：トークセッション】現場を支えるヒト・モノ・コト」（日程：2017年10月21日／会場：朝日新聞社メディアラボ）＝小川智紀が出演。
- ・シンポジウム：特定非営利活動法人子どもと文化全国フォーラム舞台芸術企画委員会「子ども劇場の舞台芸術企画の未来～文化芸術基本法成立を受けて～」（日程：2017年11月15日／会場：国立オリンピック記念青少年総合センター）＝小川智紀が出演。
- ・シンポジウム：「文化政策の実践における新しい担い手 テーマ1「市民社会セクターの二つの方向性」」（日程：2017年12月17日／会場：東京大学）＝小川智紀が登壇。
- ・レクチャー：田原市図書館・愛知大学連携研修（日程：2018年1月12日／会場：田原図書館）＝小川智紀が登壇。
- ・ヒアリング：市民社会創造ファンド・東急グループヒアリング（日程：2018年2月1日／会場：S T スポット横浜事務所）＝小川智紀、田中真実が対応。

・レクチャー：大阪アーツカウンシル「ヨコハマアートサイト」勉強会（日程：2018 年 2 月 23 日／会場：江之子島文化芸術創造センター）=小川智紀が登壇。

・レクチャー：みどりアートパーク館長トークセッション「助成金の上手な活用法」を考える（日程：2018 年 3 月 9 日／会場：みどりアートパーク）=小川智紀が登壇。

【事務局】

・事業紹介：アクションポート横浜インターンお見合い会（日程：2017 年 6 月 3 日／会場：横浜市立大学ピオニーホール）=田中真実が登壇。

・研修：アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修（日程：2017 年 7 月 12 日／会場：S T スポット）=小川智紀、佐藤泰紀、田中真実が対応。

3. インターンシップ等の受入れ

大学やNPOとの連携を通して、大学生の受入れを行いました。

- 1 桐蔭横浜大学「サービスマーケティング実習」1名受け入れ
- 2 NPO法人アクションポート横浜「NPOインターンシップ」4名を受け入れ

4. 共同研究

青山学院大学地域社会共生学部と連携し、大学生とともに、S T スポット横浜が持つアーカイブの整理を行い、地域の文化機関としての活動の変遷や成果を探りました。

- 1 歴代館長および関係者へのインタビュー
 - (1) 岡崎松恵（S T スポット初代館長／2017 年 12 月 21 日）
 - (2) 田中啓介（S T スポット元館長／2017 年 12 月 4 日）
 - (3) 鬼木和浩（横浜市文化振興課／2017 年 12 月 18 日）
- 2 大学生の視察受け入れ

活動計算書

特定非営利活動法人S Tスポット横浜

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	110,000	
フレンドシップ会員受取会費	0	
入会金	0	110,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	198,898	198,898
3. 受取助成金等		
受取助成金	600,000	
受取補助金	78,760,884	79,360,884
4. 事業収益		
事業収入	6,389,488	
利用協力費	4,646,442	
受託費	0	11,035,930
5. その他収益		
雑収入	394	
その他の収入	24,885	25,279
経常収益計		90,730,991
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	25,094,573	
通勤費	1,590,926	
臨時雇賃金	2,024,000	
法定福利費	4,425,615	
人件費計	33,135,114	
(2) その他経費		
諸謝金	5,563,894	
委託費	33,110,309	
制作費	29,630	
消耗品費	532,360	
印刷費	1,674,733	
広報宣伝費	3,779,840	
旅費交通費	1,000,041	
支払手数料	104,760	
地代家賃	1,578,994	
会場借上費	322,640	
通信費	1,622,826	
会議費	1,393,052	
設備費	752,441	
リース料	273,456	
租税公課	12,635	
その他経費計	51,751,611	
事業費計		84,886,725
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	173,244	
通勤費	7,685	
法定福利費	27,234	
退職給与繰出金	1,000,000	
人件費計	1,208,163	
(2) その他経費		
諸謝金	590,411	
租税公課	0	
設備緊急対策金	200,000	
その他経費計	790,411	
管理費計		1,998,574
経常費用計		86,885,299
当期経常増減額		3,845,692
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		3,845,692
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		3,771,192
前期繰越正味財産額		12,508,009
次期繰越正味財産額		16,279,201

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成30年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
 - (1) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
 - (2) 引当金の計上基準
・退職給与引当金
将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
・設備緊急引当金
設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
 - (3) 準備金の計上基準
・企画連携事業準備金
今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	7,521,987	17,572,586	25,094,573
通 勤 費	421,651	1,169,275	1,590,926
臨 時 雇 賃 金	0	2,024,000	2,024,000
法 定 福 利 費	1,265,256	3,160,359	4,425,615
人 件 費 計	9,208,894	23,926,220	33,135,114
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	1,247,600	4,316,294	5,563,894
委 託 費	0	33,110,309	33,110,309
制 作 費	14,688	14,942	29,630
消 耗 品 費	14,865	517,495	532,360
印 刷 費	492,955	1,181,778	1,674,733
広 報 宣 伝 費	13,512	3,766,328	3,779,840
旅 費 交 通 費	270,889	729,152	1,000,041
支 払 手 数 料	22,620	82,140	104,760
地 代 家 賃	0	1,578,994	1,578,994
会 場 借 上 費	0	322,640	322,640
通 信 費	323,599	1,299,227	1,622,826
会 議 費	481,791	911,261	1,393,052
設 備 費	655,169	97,272	752,441
リ ー ス 料	136,728	136,728	273,456
租 税 公 課	12,635	0	12,635
そ の 他 経 費 計	3,687,051	48,064,560	51,751,611
合 計	12,895,945	71,990,780	84,886,725

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
横浜市／STスポット運営補助金	0	6,100,000	6,100,000	0
横浜市／芸術文化教育プログラム推進事業補助金	0	32,440,000	32,440,000	0
横浜市／地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	0	29,928,884	29,928,884	0
文部科学省／児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験	0	2,040,000	2,040,000	0
神奈川県／かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金	0	8,252,000	8,252,000	0
合計	0	78,760,884	78,760,884	0

貸借対照表

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成30年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,499,257		
未収入金	0		
仮払金	80,000		
流動資産合計		30,579,257	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			31,839,257
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	547,800		
仮受金	251,116		
預り金	725,296		
未払費用	657,735		
流動負債合計		2,181,947	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	7,222,631		
設備緊急引当金	4,655,478		
固定負債合計		13,378,109	
負債合計			15,560,056
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		12,508,009	
当期正味財産増減額		3,771,192	
正味財産合計			16,279,201
負債及び正味財産合計			31,839,257

財産目録

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成30年3月31日現在

科 目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	182,035		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	14,369,889		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	2,626,679		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	7,222,631		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	1,442,545		
静岡銀行 横浜支店 普通	4,655,478		
未収入金	0		
仮払金			
つり銭	80,000		
流動資産合計		30,579,257	
2. 固定資産			
(1)投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			31,839,257
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金			
平成30年度利用協力費(5団体)	547,800		
仮受金			
横浜市	71,116		
神奈川県	180,000		
預り金			
源泉所得税等	725,296		
未払費用			
社会保険料等	657,735		
流動負債合計		2,181,947	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	7,222,631		
設備緊急引当金	4,655,478		
固定負債合計		13,378,109	
負債合計			15,560,056
正味財産			16,279,201